

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和8年2月18日

事業所名: 西条市児童発達支援かがやき園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 10 columns: 区分, チェック項目, 事業所の現状評価 (はい, どちらともいえない, いいえ), 工夫した点、改善点, 保護者の方の評価 (はい, どちらともいえない, いいえ, わからない), 保護者の方のご意見, 評価を踏まえた改善内容・改善目標. Rows are categorized into 環境・体制整備, 業務改善, 適切な支援の提供, and 適切な支援の提供.

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
続き)	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4			・支援終了後必ず振り返りを行い、個人の記録をする。気付いた点などは共有し次の療育につなげるようにしている。					・職員間での情報交換を行い、適切に支援につながるようにする。
	11	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	4			・児童の様子を伝えあいながら個人の記録を行う。支援方法や内容などについて意見交換を行う。・担当職員が休んでいても記録を共有し支援できるようにしている。					・適切な支援につながるように、担当以外の職員にも確認しながら記録を継続する。
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4			・半年ごとの目標、支援方法などは適切であったかを振り返る。					・半年ごとに限らず必要に応じて短期間での見直しを行う。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	4								・報告を受けることで、担当以外の職員も適切な支援方法をより身に付けていく。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	4								・関係機関との情報共有できるように参加に努めている。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	4								・関係機関との連携については検討していく。	
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	4								・今後も必要に応じて幼稚園、保育園、学校等情報共有する。	
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	3	1							・今後も円滑に移行できるように必要に応じて情報提供を行う。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4								・出来る限りの情報収集に努め、職員研修を継続していく。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4				7	1	1	8	・まだ交流をもったことがないため。	・安全面が確保できる交流については、検討していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	4									・安全面、衛生面が確保できる交流については、検討していく。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4				16	1			・契約時に丁寧な説明を心がけるとともに、支援内容については契約後も個別での説明を継続する。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4				17				・今後も個別での丁寧な説明を心がけ、保護者と情報共有しながら療育を行う。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	1			10	1	3	3	・もっとペアレントトレーニングが必要だと思う。寄り添い方が不十分かと思う。アドバイスありがとうございます。	・今後も丁寧な対応を心がける。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4				15	1		1		・今後も児童の情報交換をすす中で、次回へ繋げることができるように考えていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3	1			14	2	1		・障がいの幅が広いので、グレーの子への支援や説明が少し不足しているように感じる。	・相談しやすい場所になるように、保護者との信頼関係を築いていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	3			4	5	1	7	・保護者会等はないが、親同士で話す時間はある。・母子分離の時間がいい気分転換になっています。	・今後も保護者同士が情報交換できる時間を作る。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4				5	1		11	・苦情等は聞いたことがない。・苦情等の場面や話を聞いたことがないため。マニュアルは読みました。	・苦情については真摯に受け止め、保護者の気持ちに寄り添いながら取り組む。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3	1			15	1		1		・今後も児童の特性に応じた支援方法を考え、意思疎通ができるようにする。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	4				14	2		1		・毎月の園便りについて質問を受けた場合は個別に説明を行う。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4				15			2		・今後も毎日の確認を継続し、個人情報を大切に取扱いを徹底する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4					5	・それぞれのマニュアルの見直しを行うとともに周知徹底する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4					5	・福祉センター全体の訓練に参加することを続ける。園での訓練も今後続けていく。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	3	1					・今後も個人票への記入をお願いし、保護者へ確認を行い全職員共有する。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	3	1					・今後も児童の身体や状態に合ったお弁当やおやつを用意していただく。職員間で情報共有を行い正確に把握する。
	5	安全管理の徹底	4						・今後も安全管理(事前のシミュレーションや研修等)を行い安全に療育を行う。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	4					3	・今後も安全計画に基づき声掛けをし、指針を確認してもらい周知を図る。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4						・事例集について話し合いを行うとともに、安全に過ごせるように環境の見直しを行う。今後もファイリングし、いつでも情報共有できるようにする。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4						・虐待を防止するための園内研修を全職員で行う。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	3	1					・身体拘束等の園内研修を定期的に行っている。何かがある時には、速やかに保護者、職員、上司に報告する。